

## 世田谷区は「共生社会ホストタウン」の取組みを進めています!

### 「共生社会ホストタウン」とは

東京2020大会を契機に、パラリンピアンとの交流やユニバーサルデザインのまちづくり、心のバリアフリー、障害者スポーツの推進など共生社会の実現に向けて取り組む自治体として、世田谷区は、国から都内で初めて共生社会ホストタウンの登録を受けました。

共生社会ホストタウンの取組みの一つとして、商店や事業所における合理的配慮の提供を支援します。

### 「合理的配慮」とは

障害のある方などから求められた場合に、負担になりすぎない範囲で、たとえば次のようなことを行うことです。

- 段差がある場合、段差解消用簡易スロープを設置したり、移動を手助けする。
- コミュニケーションの工夫をする。  
(聞こえにくい場合は、筆談ボードやメモを活用するなど)
- メニューを分かりやすく説明したり、点字メニューを活用したりする。

※ 障害者差別解消法の改正により、令和6年度から民間事業者による合理的配慮が義務化されます。

## 物品を設置したお店での声

### お店からの声

- 段差解消用簡易スロープを導入して、車いす利用のお客様から感謝されました。
- 耳の不自由なお客様と筆談ボードでコミュニケーションをとれることにより、お客様のニーズを的確につかめるようになりました。

### 障害のある方からの声

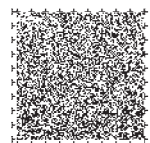
- お店が利用しやすくなると嬉しいです。段差解消用簡易スロープや点字メニューなどを導入するお店が増えてほしいと思います。

## 出前講座を実施しています!

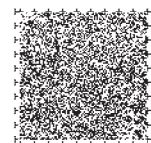
商店や事業所の方々に「障害者差別解消」に関する理解を深めていただくため、区の職員が皆さまのところに伺い、「合理的配慮」などの説明をさせていただきます。

お気軽に表面の「申込み・問合せ先」にお問い合わせください。

下のマークは、目の不自由な方のための「音声コード」です



下のマークは、目の不自由な方のための「音声コード」です



# 段差解消用簡易スロープや 点字メニューなどの 経費を助成します!

障害のある方が商店や事業所を利用しやすくなるための物品を購入する経費を助成します。



申込み  
問合せ先

〒154-8504

世田谷区世田谷 4-21-27 世田谷区 障害福祉部 障害施策推進課 施策推進担当

電話 03-5432-2385 FAX 03-5432-3021 <http://www.city.setagaya.lg.jp>

本助成事業は、福祉のための寄附金を積み立てた「世田谷区地域保健福祉等推進基金」を活用して実施しています。

## 本助成事業の目的

世田谷区では、心身の機能に障害のある区民のみならず、様々な状況及び状態にある区民が、多様性を尊重し、価値観を相互に認め合い、安心して暮らし続けられることを目指して、令和5年1月に「世田谷区障害理解の促進と地域共生社会の実現をめざす条例」を制定しました。

この条例の理念に基づき、障害に対する理解を促進するとともに、段差解消用簡易スロープや点字メニューなどの経費の助成を行うことで、区民の生活の場である商店や事業所において、障害者を受け入れる環境の向上により、障害者が外出しやすい環境を整える取り組みを行ってまいります。

## 助成の対象者

世田谷区の商店や事業所等が対象です。

## 助成にあたって

- ◆ この事業の助成を受けた商店や事業所には、共生社会促進の取組みを示すステッカーを入口等に掲示していただきます。
- ◆ 助成を受けた商店や事業所は、区のHPに掲載します。



(ステッカーイメージ)

## 手続きの流れ

### 相談・申請 (※1)(※2)

- ※1 申請される方は、表面の「申込み・問合せ先」にご連絡ください。
- ※2 物品の選定について、**ご相談がある場合は、区職員等が伺います。**

### 物品の納品・支払 (※3)

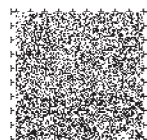
- ※3 助成金は、区が物品の販売・作成事業者へ直接支払うことができます。(委任払を選択された場合)

## 募集期間

令和5年9月1日(金) から受付開始

※先着順に区で受付します。予算額を超える応募がある場合は、助成できない場合があります。

下のマークは、目の不自由な方のための「音声コード」です



## 助成の対象になるもの

障害のある方への合理的配慮が提供できるようにするもので、以下のものが対象となります。

### 物品の購入 上限額7万円(10割助成)

⇒「段差解消用簡易スロープ」、「筆談ボード」など

### 物品の作成 上限額5万円(10割助成)

⇒「点字メニュー」、「写真付き音声コード入りメニュー」、「コミュニケーションボード」など

※ 物品の『購入』と『作成』どちらも申請する場合は、上限額7万円となります。

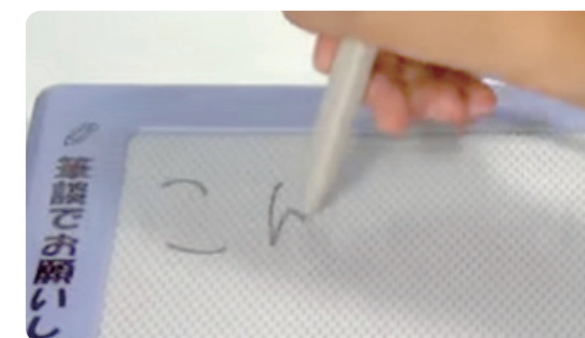
## 物品の例

### 段差解消用簡易スロープ



車いすを利用している方などが来店されたときに、段差を緩やかな傾斜にすることで移動がしやすくなります。

### 筆談ボード



耳の不自由な方が来店されたときに、筆談でやり取りができます。

### 点字メニュー

※価格はすべて税抜きです。

らーめん	500円
らーめん(中)	600円
らーめん(大)	650円
ネギラーメン	660円
チャーシューメン	690円
ほうれん草ラーメン	610円
薬味ネギラーメン	610円
ネギチャーシューメン	630円
味付け玉子ラーメン	660円

目の不自由な方も、自分で買いたいものや注文したいものが選べます。

### コミュニケーションボード

言葉でのコミュニケーションが難しい方がイラストなどを指し示すことによって、一緒に確認しながらやり取りができます。



助成対象の物品は、複数の商店や事業所で共同利用するなど、地域の中で有効に活用していただく方法も考えられます。(段差解消用簡易スロープについても、共同で使用できる規格の製品があります。ご検討される場合は、表面の「申込み・問合せ先」にご相談ください。)

下のマークは、目の不自由な方のための「音声コード」です

